

2014年11月10日

バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター / 大学院 学際・融合科学研究科 共催

## 第12回国際シンポジウム開催のご案内

The 12th International Symposium on Bioscience and Nanotechnology

～世界各国の研究者による最先端研究成果の講演と発表～

11月14日（金）～11月15日（土） 於 東洋大学 川越キャンパス

東洋大学（学長・竹村牧男）は、『バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター』および大学院『学際・融合科学研究科』の共催による第12回国際シンポジウム「The 12th International Symposium on Bioscience and Nanotechnology」を川越キャンパスで開催いたします。

各国大使館や産業界からの後援を受けて開催いたします本シンポジウムでは、最先端研究者による基調講演（イギリス、フランス、インド）、大学院生による講演（日本、イギリス、フランス、ブラジル、ラトビア、ハンガリー）およびポスター発表70件を行う予定です。最先端研究成果の講演や若手研究者による研究発表を通して、バイオ・ナノ融合分野における国際的な教育研究のさらなる発展につなげたいと考えております。

ご多忙中とは存じますが、ぜひご取材いただけますようお願い申し上げます。

### <記>

#### 【開催概要】

バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター / 大学院 学際・融合科学研究科 共催  
The 12th International Symposium on Bioscience and Nanotechnology

日 時： 2014年11月14日（金）13時～18時30分（12時間開場）  
2014年11月15日（土）9時30分～18時（9時間開場）

会 場： 東洋大学川越キャンパス（埼玉県川越市鯨井2100）  
バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター新棟（β棟）

交 通： 東武東上線鶴ヶ島駅 東口より徒歩約10分

<http://www.toyo.ac.jp/site/access/access-kawagoe.html>

発表言語：英語

後 援： フランス大使館、インド大使館  
日本電子株式会社、株式会社島津製作所、株式会社堀場製作所、  
株式会社日立ハイテクノロジーズ、株式会社エリオニクス、  
サムコ株式会社、株式会社日産アーク

※プログラム詳細は次項をご覧ください。



## &lt;第12回国際シンポジウム プログラム&gt;

## ■ 2014年11月14日 (金)

- 12:00 開場、ポスター展示
- 13:00~13:10 開会のご挨拶  
(東洋大学学長 竹村 牧男)
- 13:10~13:50 **Nanomaterials by design**  
(Nicole Grobert, University of Oxford, UK)
- 13:50~14:10 **Modelling atomic-scale fluorine deposition processes on carbon nanomaterials using first principles DFT approaches**  
(Jeremy Rio, Université de Nantes, France )
- 14:10~14:30 **Electrostatically stabilized magnetic liquids in dimethyl-sulfoxide DMSO**  
(Cleber Lopes Filomeno, Université Pierre et Marie Curie (Paris 6), France)
- 14:30~15:00 休憩、ポスター展示
- 15:00~15:40 **Sequential sub-graph algorithm for rapid detection of singleton attractors of biological Boolean networks**  
(James Gomes, Indian Institute of Technology Delhi, India)
- 15:40~16:00 **A study of magnetic liposomes formed by cationic pyridine amphiphile and magnetic ferrofluid**  
(Guntars Kitenbergs, Université Pierre et Marie Curie, France)
- 16:00~16:20 **Preparation and characterization of plasmonic nanostructures by AFM-Raman system: from experiments to modelling**  
(Angéline D' Orlando, Université de Nantes, France)
- 16:20~16:50 休憩、ポスター展示
- 16:50~17:10 **Host-guest interactions in poly(N-isopropylacrylamide) gel seen by thermal simultaneous thermal analysis and powder X-ray diffraction method**  
(Eniko Manek, Budapest University of Technology and Economics, Hungary)
- 17:10~17:30 **Self-assembly of graphene oxide sheets on SiO<sub>2</sub>/Si**  
(Neha Chauhan, Toyo University, Japan)
- 17:30~18:10 **Transition metal nanoparticles**  
(Frank Dillon, University of Oxford, UK)
- 18:10~18:30 ポスター展示
- 18:30 ~ 懇親会

<第12回国際シンポジウム プログラム>

■ 2014年11月15日 (土)

- 09:00 開場、ポスター展示
- 09:30~10:10 **Dispersions of magnetic nanoparticles in ionic liquids**  
(Régine Perzynski, Université Pierre et Marie Curie, France)
- 10:10~10:30 **Systematic study of chemical vapour deposition growth of iron-filled carbon nanotubes**  
(Karwei So, University of Oxford, UK)
- 10:30~10:50 **Nanosystems for in-vivo self-assembling medical devices**  
(Gennaro Dichello, University of Brighton, UK)
- 10:50~11:20 休憩、ポスター展示
- 11:20~12:00 **The hypes and hopes of carbon-based nanomaterials in nanomedicine**  
(Hanene Ali-Boucetta, University of Birmingham, UK)
- 12:00~12:20 **Graphene synthesis on silicidated substrates for electronic applications**  
(Vitaliy Babenko, University of Oxford, UK)
- 12:20~13:00 **Predicting new carbon nanomaterials from first principles**  
(Chris Ewels, Université de Nantes, France)
- 13:00~13:10 閉会の挨拶  
(東洋大学バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター センター長 前川 透)
- 13:10~ ポスター展示

## ご取材頂けます



理工学部 生体医工学科 教授  
バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター センター長  
**前川 透 (まえかわ とおる)**  
1994年から東洋大学工学部 (現・理工学部) 教授  
2003年から同大バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター長を兼務

<お話しできること>

- バイオ・ナノエレクトロニクス研究センターの取り組みや国際展開
- 先端若手研究者の育成について
- バイオ・ナノイノベーション創出事業について

### < 東洋大学 バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター >

生体機能・生体機構の解明、ナノ・バイオ分析デバイスの開発を目的として1996年に設立。  
文部科学省の「ハイテク・リサーチ・センター整備事業補助金 (1996-2000, 2001-2005, 2006-2010年度)」「21世紀COEプログラム (2003-2007年度)」「戦略的研究基盤形成支援事業 (2011-2015年度)」に採択されています。  
センターで実施している主な研究テーマは以下の通りです。

- ◆ ナノテクノロジー、バイオテクノロジー、バイオ・ナノ融合テクノロジーに関連する基礎サイエンス
- ◆ 環境低負担型ナノ・エレクトロニクスデバイスの開発
- ◆ 極限環境微生物の発掘およびバイオ・ナノ融合テクノロジーへの応用
- ◆ バイオ・ナノハイブリッド構造体を基盤としたナノ・マイクロ環境・バイオ・医療センサー・デバイスの開発

バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター / 大学院 学際・融合科学研究科 共催

## 第12回国際シンポジウム開催のご案内

The 12th International Symposium on Bioscience and Nanotechnology

～世界各国の研究者による最先端研究成果の講演と発表～

11月14日（金）～11月15日（土） 於 東洋大学 川越キャンパス

FAX：03-5572-6065（東洋大学PR事務局）

※11月13日（木）17：00 までに必要事項をご記入の上、FAXにてお知らせください。

※同内容をメールでご送信いただいても結構です。（[toyodaigaku@vectorinc.co.jp](mailto:toyodaigaku@vectorinc.co.jp)）

ご出席

ご欠席

|             |               |
|-------------|---------------|
| 貴社名         |               |
| ご所属         |               |
| ご芳名等        | （人数計 名）       |
| 電話          |               |
| メール<br>アドレス | @             |
| 掲載予定        | 月 日 掲載予定 ・ 未定 |

### 個人情報のご記入にあたって

ご記入頂きました個人情報は、今回のイベント関連の出席者管理・ご連絡のみに利用させていただきます。イベント関係者以外の第三者への提供・預託はおこないません。本ご返信状に個人情報を記入頂く場合には、下記内容を御確認・ご同意の上、同意欄にチェックの上ご返信をお願い致します。

個人情報の送信に同意する

当社の個人情報保護方針、並びに個人情報の取り扱いに関するお問い合わせは  
[privacy@vectorinc.co.jp](mailto:privacy@vectorinc.co.jp)までお願い致します。